

# 広報

 兵庫医科大学  兵庫医療大学

## OPEN CAMPUS



右上・右中 兵庫医科大学(8月3日) 左・右下 兵庫医療大学(7月18日)

### 01 最近の主な出来事

<兵庫医科大学>

- 02 学生部長メッセージ
- 03 就任挨拶／名誉教授称号授与
- 04 平成22年度入学試験について／入学試験概要
- 05 平成22年度大学院入学試験概要／学位の授与／兵庫医科大学連携病院の会発足
- 07 学生が選ぶベストティーチャー賞・特別教育賞 授与／平成21年度 第1回キャンパス見学会を実施
- 08 平成21年度教員研究費助成配分者決定／平成21年度公的資金一覧
- 09 コロンビア大学短期留学を終えて

<兵庫医科大学病院>

- 10 卒後臨床研修センター長メッセージ
- 11 第25回兵庫県栄養改善研究発表会「院内食での取り組み」努力賞 受賞／株式会社エイチ・アイから車椅子入浴装置の寄贈

<篠山病院>

- 12 兵庫医科大学リハビリテーションセンター／職場紹介
- 14 第10回日本語聴覚学会 優秀賞 受賞／篠山病院整備工事の進捗状況

<兵庫医療大学>

- 15 副学長メッセージ
- 16 就任挨拶
- 17 平成22年度入学試験について／入学試験概要

- 18 大学入試センター試験の共同実施に関する協定書調印／平成21年度 第1回オープンキャンパスを実施
- 19 キャリアデザインセンター 第1回仕事研究セミナーを開催／地域連携実践センターの活動
- 21 平成21年度厚生労働科学研究費補助金交付決定／ひょうごユニバーサル社会づくり賞「知事賞」受賞／株式会社紀伊國屋書店様から彫刻の寄贈

<学校法人兵庫医科大学>

- 22 規程等の制定・改正／平成21年度 学校法人兵庫医科大学常勤理事の業務担当
- 23 収支改善に向けて(財務担当理事)

### 25 卒業生紹介

奥井 雅憲さん(兵庫医科大学第12期生)  
西川 真司さん(兵庫医科大学第12期生)

### 26 職場紹介

兵庫医科大学病院 病院病理部  
兵庫医科大学病院 看護部 内科外来  
兵庫医療大学 薬学部(衛生薬学系)

### 29 Join us! 一課外活動紹介一

兵庫医科大学 HCME(英語クラブ)  
兵庫医療大学 ボランティアサークル／ソフトテニス部

# 最近の主な出来事

## 6月 JUNE

1	兵庫医科大学病院 トライやる・ウィーク(～5日)	兵庫県立下の公立中学2年生全員が地域社会で一週間の体験活動を行うもので、西宮市立学文中学の生徒5名が10号館5、7～9階病棟で実習を行いました。10-9病棟で配膳や移送、環境整備などの体験をした女子学生は「夢は薬剤師です。ここで色々体験させていただき勉強になります」と話していました。
10	兵庫医科大学病院 市民健康講座	第3会議室において総合診療科 川端 啓太准教授が「内科からみた「めまい」」をテーマに講演を行いました。(参加89名)
12	兵庫医科大学病院 第1回兵庫医科大学連携病院の会	→P5をご覧ください。
	兵庫医療大学 教員対象入試説明会	M113講義室において高等学校の進路指導教員や予備校の教員の方々(参加校数36校)に本学にお越しいただき、平成22年度入試説明会を開催しました。昨年度の入試結果や今年度入試概要、各学部の紹介説明の後、希望者には授業参観やキャンパス見学、個別相談などにも参加していただきました。
18	兵庫医科大学 学位授与式	→P5をご覧ください。
20	兵庫医科大学病院 第5回兵庫肝疾患診療連携フォーラム -兵庫県肝疾患診療連携拠点病院からの情報発信-	平成記念会館において開催され、約100名が参加しました。 開会挨拶：兵庫医科大学 波田 壽一学長 特別講演1：座長 神戸朝日病院 金 守良院長 「肝疾患における画像診断の進歩」 兵庫医科大学 内科学 肝・胆・膵科 飯島 尊子教授 特別講演2：座長 兵庫医科大学病院 肝疾患センター 西口 修平センター長 「C型慢性肝炎の治療ガイドと医療連携」 武蔵野赤十字病院 泉 並木副院長 閉会挨拶：兵庫県健康福祉部 太田 稔明医監兼健康局長
	兵庫医療大学 「ボーアイ4大学による連携事業-安全・安心・健康のための総合プログラムを軸として」-ワークショップ	M棟487会議室において、講師に九州大学大学院芸術工学研究院平井 康之准教授をお迎えし、「使いやすいばんそうこうをデザインする」をテーマにボーアイ健康・生活支援ステーションが第1回ユーザー参加型医療デザインワークショップを開催しました。(参加47名)
22	兵庫医科大学 熱中症予防講習会	毎年、兵庫医科大学医学部の運動部所属部員を対象に実施しているもので、平成記念会館において、健康スポーツ科学 辻田 純三講師が下記の内容で講義を行い、約530名が出席しました 1.熱中症による事故の事例紹介 2.熱中症の定義 3.熱中症発症の機序 4.熱中症予防対策
24	兵庫医科大学病院 市民健康講座	第3会議室において泌尿器科 山本 新吾主任教授が「早期前立腺癌の治療と診断」をテーマに講演を行いました。(参加82名)
26	兵庫医科大学 教員対象入試説明会	第2会議室において、高等学校、予備校の教員を対象とした平成22年度入試説明会を実施しました。平成22年度入試概要の説明及び質疑応答、学習支援制度についての説明の後、個別相談・キャンパス見学などを行いました。31校(うち予備校13校)が参加されました。
	兵庫医科大学病院 兵庫医科大学病院 接遇研修 ～言葉によるサービスマナー～	3-3講義室において日本医療事務センターから講師をお招きして、「言葉によるコミュニケーション」というテーマで言葉遣い・電話応対等を中心に研修を実施しました。医事課、病棟クラークを中心に、181名の出席者は実践も交えながら熱心に学びました。

## 7月 JULY

4	兵庫医科大学 第4回兵庫医科大学がんセンター講演会 「がん医療従事者研修」	3-3講義室において開催され、約80名が参加しました。 講演I「肺がん診療の基本的事項と最近の話題」 川崎医科大学 呼吸器内科 岡 三喜男教授 講演II「肺がんの画像診断-肺がん診療におけるPET/CTの役割-」 兵庫県立がんセンター 放射線科 足立 秀治部長
8	兵庫医科大学病院 市民健康講座	第3会議室において皮膚科 津田 達也学内講師が「さまざまな皮膚の病気」をテーマに講演を行いました。(参加56名)
10	兵庫医科大学病院 平成21年度私立医科大学病院中央検査部部長会・技師長会研修会	毎年開催されているもので、平成21年度は本学が当番校として開催しました。全国の私立医科大学病院から約70名の参加があり、技師長会総会、部長会、部長会技師長会合同研修会が行われ、情報共有と活発な意見交換の他、シスメックス株式会社 家次恒氏(社団法人 日本臨床検査薬協会会長)による講演「臨床検査 現状と将来」～グローバル企業としての取り組み、神戸医療産業都市から学ぶ～が行われました。
17	篠山病院/ささやま老人保健施設 消防訓練	13時30分から篠山病院第3病棟男子便所を、14時からささやま老人保健施設3階310号室を火場所想定し、消防訓練を実施しました。続いて、第5病棟西側駐車場において、篠山市消防本部立会いのもと、消火器を使用した消火訓練と放水訓練を行いました。
18	兵庫医科大学 第27回医学教育ミニワークショップ(～19日)	ホテルコスモスクエア国際交流センターにおいて開催され、採用3年以内の教員約20名が参加しました。「学生の能動的姿勢と考える力を引き出す評価方法」をテーマに本学客員教授の津田 司先生(三重大学名誉教授)にご指導をお願いし、Modified Essay Questionの問題作成や臨床実習のポートフォリオ評価などを学びました。他にも成瀬准教授によるCBT問題作成とブラッシュアップ、鈴木医学教育センター長による医師国家試験の現状と対策についての説明を行いました。
	兵庫医療大学 オープンキャンパス	→P18をご覧ください。
	兵庫医科大学病院 第9回地域医療懇談会	医師会及び地域医療機関との連携を深めるため、ノボテル甲子園で開催し、105名(学内55名、学外50名)の出席をいただきました。特別講演では、公立八鹿病院 名誉院長 谷 尚先生に「地域医療のあり方」の演題でご講演いただくとともに、本学病院泌尿器科の山本 新吾診療部長から「泌尿器科における低侵襲治療」の演題で講演がありました。懇談会終了後の懇親会も今まで以上に盛り上がり盛会のうち終了しました。
22	兵庫医科大学病院 市民健康講座	第3会議室において精神科神経科 大原 一幸講師が「うつ病について」をテーマに講演を行いました。(参加85名)
25	兵庫医療大学 「ボーアイ4大学による連携事業-安全・安心・健康のための総合プログラムを軸として」-公開講座	M211講義室において、薬学部 戴 毅 准教授が「健康のために知っておきたい漢方医学の知識」をテーマに講義を行いました。(参加48名、個別相談12名)
28	学校法人兵庫医科大学 第4回日篠山物産展 主催:有限会社クリエトささやま 協賛:篠山市、学校法人兵庫医科大学	1号館1階西側で、霧いも(山の芋)、夏野菜、米、黒豆を使った加工品、銘菓など丹波篠山の特産物が販売され、盛況な売れ行きとなりました。



トライやる・ウィーク



教員対象入試説明会(兵庫医科大学)



第5回兵庫肝疾患診療連携フォーラム



熱中症予防講習会



教員対象入試説明会(兵庫医科大学)



接遇研修



第4回兵庫医科大学がんセンター講演会



平成21年度私立医科大学病院中央検査部部長会・技師長会研修会



消防訓練



第27回医学教育ミニワークショップ



第9回地域医療懇談会



### 学生部長メッセージ

## スポーツ医学のすすめ

学生部長 | 越久 仁敬  
生理学(生体機能部門)主任教授

**本** 稿が発行される頃には、今年の西日本医科学学生大会日程もほぼ消化されていると思います。学生諸君が立派な成績を挙げていることを願いながらこの原稿を書いています。平成21年6月22日、運動部に所属している学生を対象とした「熱中症予防」の講義が平成記念会館であり、健康スポーツ科学の辻田 純三先生にご講演いただきました。中には熱心に聞いていた学生もいましたが、全体的に騒がしく、途中で辻田先生が注意される場面もあった事は残念でした。私は、ことあるごとに課外活動としてスポーツをすることの効用を説いていますが、特に、学生諸君は医学生なのだからスポーツ医学にも興味を持ってほしいと思います。また、アスリートとして強くなりたいと思うなら、スポーツ医学の知識を是非活用すべきです。押しなべてトップアスリートは運動生理学に通じています。

**こ** まめに水分補給をすることは、熱中症の予防に重要なだけでなく、パフォーマンスの維持にも非常に大切なことです。私たちの体の60%は水分で構成されています。体の水分不足はアスリートが短時間の運動をしたときにも影響があります。体の水分が体重の1～2%の水分が失われるだけでパフォーマンスに影響が出始め、体重の2%以上失われれば、運動能力は半分以下に低下すると言われています。さらに、体重の3%以上水分が失われると、熱痙攣や熱疲労の原因となります。何をどれだけ飲めばいいかというと、水やお茶ばかりを飲むのではなく、電解質を含むスポーツ飲料を飲むべきです。電解質を含まない水ばかり飲んでしまうと、血液の浸透圧が下がって、のどの渇きが癒され、利尿が起こってさらに脱水

状態が悪化します。また、低ナトリウム血症となって、筋痙攣を起す可能性もあります。電解質を含む飲み物で、汗で失われた電解質を補うことが重要です。

**食** 事について言えば、高炭水化物食を摂取すると、筋肉内グリコーゲンレベルの回復が促進され、脂肪中心の食事をした場合に比べて持久運動能力が高く、疲労からの回復が速いということが分かっています。運動選手が摂取すべき1日の総カロリーは、3000kcal～5000kcalです。甘いお菓子など単糖類を多く含む食べ物を摂取すると、吸収が良いので急速に血糖値が上昇し、満腹中枢が刺激されて十分な量を食べられなくなってしまいます。消化に時間がかかる多糖類を多く含む高炭水化物食を摂るのが良いでしょう。(私の講義を真面目に聞いていれば、糖質は単糖類まで分解されて小腸上皮においてNaと共輸送されるということが理解できているはずですね!)

**学** 生諸君はスポーツ医学を積極的に学んで、第一に安全にスポーツ競技を行うこと、そして競技において最高のパフォーマンスが発揮できるよう体のコンディション調整に努め、西医体での優勝を目指してがんばって下さい。



平成21年6月22日 熱中症予防講習会

## | 就任挨拶



外科学 下部消化管外科  
教授 池内 浩基  
〈平成21年8月1日就任〉

この度、下部消化管外科の教授に昇進させていただきました。炎症性腸疾患(IBD)センター副センター長との兼任で、外来診療は内科外来内にあるIBDセンターで行っております。

私は、昭和62年に本学を卒業後、当時の第二外科に入局しました。振り返りますと、外病院に勤務した2年5ヶ月を除いて、本学に勤務してきたこととなります。入局当時よりIBDの分野で活躍されていた、下山 孝教授と宇都宮譲二教授がおられ、他

施設よりも非常に多いIBDの患者さんに接することができました。IBDの患者数は潰瘍性大腸炎(UC)、クローン病(CD)ともに右肩上がりの増加をしており、UCは10万人を超え、CDは3万人程度と推定されています。当科の手術症例数も、UCは1100例を超え本邦で最も多く、CDも660例を超え、西日本では最も多い症例数となっています。IBDの治療は内科と外科の両輪がうまく廻らなければ、患者数の増加や治療効果の向上は望めません。幸い、当院では平成21年5月よりIBDセンターが松本 誉之センター長のもと本稼働し、内科と外科のIBD専門医が毎日診療に当たるという、システムが構築されました。

外科医不足は全国的な問題ですが、一人でも多くの研修医が外科を選択してくれるように努力していきたいと思っております。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



眼科学  
教授 池田 誠宏  
〈平成21年8月1日就任〉

平成21年8月1日に眼科学講座の教授を拝命いたしました。私は昭和57年に大阪市立大学を卒業後、大阪市立大学眼科に入局し、大阪市立城北市民病院、大阪市立総合医療センターを経て、平成12年4月に兵庫医科大学眼科学講座に赴任いたしました。

私の専門は網膜硝子体疾患で、中でも糖尿病網膜症を主とする糖尿病の眼合併症を中心に診療を行ってきました。糖尿病の眼合併症は多岐に渡り、網膜症、白内障、緑内障、ぶどう膜炎、外眼筋麻痺、視神経症、角膜症など様々な眼疾患を生

じます。糖尿病の患者数は年々増加していることから、21世紀の眼科医療で最も重要な分野と言えます。

糖尿病眼合併症の中でも、糖尿病網膜症は成人の失明原因の1位もしくは2位を常に占める極めて重要な疾患です。この糖尿病網膜症による失明患者を一人でも減らすことが私の最大の診療目標です。そのためには光凝固術および硝子体手術の適切な施行が必要不可欠です。私は特にこの分野が専門であり、過去多数例の手術を執刀し、技量を高めてきました。兵庫医科大学にも多くの糖尿病患者様が受診しておられ、その数は年々増加傾向にあります。今後も私の診療、治療技術を生かして、一人一人の患者様のQuality of Visionをより高め、日々の診療にあたりたいと思います。そして、今まで培ってきた診断および治療の技術を一人でも多くの若い医局員に伝えていきたいと考えております。今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## | 名誉教授称号授与

平成21年4月1日付けで下記3名の方に名誉教授の称号が授与されました。(平成21年3月31日定年退職)



社会福祉学 橋高 通泰 名誉教授



産科婦人科学 香山 浩二 名誉教授



泌尿器科学 島 博基 名誉教授

## | 平成22年度入学試験について

入試センター長 関 真  
解剖学(細胞生物部門)主任教授



本年度から前任者の村田先生の後を受けて入試センター長を拝命しました。入試センターは高等学校や予備校訪問により少しでも多くの優秀な学生に本学に入学して頂くべく村田前センター長が精力的に開拓してきた分野ですので、本年度は先ず前センター長の仕事を踏襲することから始める予定です。村田先生は専任でかなり広範囲な守備範囲をお持ちでしたので大変ですが、何とかやってみる覚悟です。各方面の皆様には様々にお世話になろうかと思いますが、よろしくお願ひ致します。

ところで、本学が定めた期待する学生像とは

- ① 医師となることについて明確な目的と情熱を持っていること。
- ② 医学を学ぶためのしっかりとした基礎学力を身に付けていること。
- ③ 病める人への思いやりと奉仕の心、痛みを理解する感性を

有すること。

- ④ 協調性に富み、豊かな教養と人間性を有すること。
  - ⑤ 常に努力を怠らず、自ら進んで学習する意欲のあること。
- ということですが、②と⑤は本学に入学する以前に最低限持っている欲しい学習能力に関するものですが、①、③と④は現実には期待する程度かなと個人的には感じています。これらは本来医科大学で育成していくべき内容を多く含んでおり、高校生にここまで完成した人格を期待するのは少し無理があるような気がするからです。私が入学する諸君に期待したいのは、周囲の人に対する心配りとか、礼儀とかの現代日本人が忘れてきている良識です。志ある沢山の学生さんに本学で学んで頂き、立派な医師に育って欲しいと願っています。

## 平成22年度兵庫医科大学入学試験概要

### 一般公募制推薦入学試験

募集人員	約15名
試験科目	基礎学力検査、小論文、面接、調査書
出願期間	平成21年10月28日(水)～11月9日(月) 必着
試験期日	平成21年11月15日(日)
試験場	兵庫医科大学
合格者発表	平成21年11月24日(火)

### 一般入学試験

募集人員	約80名
試験科目	第1次試験：数学(150点)、外国語(150点)、理科(2科目選択)(200点) 第2次試験：小論文(100点)、面接
出願期間	平成21年12月14日(月)～平成22年1月19日(火) 消印有効
試験期日	第1次試験：平成22年1月27日(水) 第2次試験：平成22年2月6日(土)または7日(日)(希望日を出願時に選択)
試験場	第1次試験：大阪会場：インテックス大阪/東京会場：フォーラム8/ 福岡会場：福岡商工会議所 第2次試験：兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成22年2月4日(木) 第2次試験：平成22年2月15日(月)

### 地域指定推薦入学試験

募集人員	5名以内 注) この選抜では、地域医療に貢献する強い意志と適性を評価するため、合格者が募集人員に満たない場合がある。その場合、欠員は一般入学試験の募集人員に加える。
試験科目	基礎学力検査、小論文、面接、調査書
出願期間	平成21年10月28日(水)～11月9日(月) 必着
試験期日	平成21年11月15日(日)
試験場	兵庫医科大学
合格者発表	平成21年11月24日(火)

※出願時点で、兵庫県内(神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市を除く)に保護者(父母。ただし、父母がいない場合は祖父母等)が1年以上在住していることが、住民登録等により確認できる者で、将来、当該地域における地域医療に貢献しようとする強い意志を持つ者が対象。

### 大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	10名
試験科目	第1次試験：大学入試センター試験 国語(近代以降の文章のみ)、 数学(数学I・数学A、数学II・数学B)、 理科(生物I、物理I、化学Iのうち2科目選択)、 英語(リスニングを含む) 第2次試験：面接
出願期間	平成21年12月14日(月)～平成22年1月15日(金) 消印有効
試験期日	第1次試験：大学入試センター試験日 平成22年1月16日(土)、17日(日) 第2次試験：平成22年2月20日(土)
試験場	第1次試験：大学入試センターが指定する試験会場 第2次試験：兵庫医科大学
合格者発表	第1次試験：平成22年2月15日(月) 第2次試験：平成22年2月24日(水)

## 平成22年度兵庫医科大学大学院入学試験概要

### 平成22年度大学院医学研究科入学試験(前期/後期募集)

出願期間	前期:平成21年8月24日(月)~9月5日(土) / 後期:平成22年1月25日(月)~2月6日(土)
試験期日	前期:平成21年9月18日(金) / 後期:平成22年2月19日(金)
試験場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接(担当教授との面接が終了している場合には免除することがある)
合格発表	前期:平成21年10月2日(金) / 後期:平成22年3月12日(金)

### 課程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第55回、56回)

出願期間	第55回:平成21年8月24日(月)~9月5日(土) / 第56回:平成22年1月25日(月)~2月6日(土)
試験期日	第55回:平成21年9月18日(金) / 第56回:平成22年2月19日(金)
試験場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	第55回:平成21年10月2日(金) / 第56回:平成22年3月12日(金)

### 医学研究科入学試験(本学教員)

出願期間	募集要項配布時~2月6日(土)(随時受付)
試験期日	指導教授の指示した日時及び場所で開催する
試験場	
選考方法	①外国語試験 ②面接
合格発表	研究科教授会において承認された翌日

## 学位の授与



**外科系 今村 美智子** 甲第530号(平成20年3月31日)  
 Contribution of TIR domain-containing adapter inducing IFN-β-mediated IL-18 release to LPS-induced liver injury in mice  
 (TIR domain-containing adapter inducing IFN-β (TRIF) が介在するIL-18分泌によってマウスLPS肝障害が誘導される)



**機能病理学 盛本 浩二** 乙第313号(平成21年6月4日)  
 Stem cell marker aldehyde dehydrogenase 1-positive breast cancers are characterized by negative estrogen receptor, positive human epidermal growth factor receptor type 2, and high Ki67 expression  
 (乳癌幹細胞マーカーであるaldehyde dehydrogenase 1 陽性乳癌は、エストロゲン受容体が陰性、human epidermal growth factor receptor type 2 (HER2)が陽性であり、増殖が早い特徴を持つ)

## 兵庫医科大学連携病院の会発足

大学と連携病院が人事の交流等により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めること、大学と連携病院に在籍する医師の臨床教育・研修・研究及び診療技術の向上を図ること、効率的で有効な学生教育に資することや地域医療の向上に寄与すること等を目的に兵庫医科大学連携病院の会が設立されました。平成21年8月1日現在、119病院にご入会いただいております。

平成21年6月12日(金)、ノボテル甲子園において第1回兵庫医科大学連携病院の会を開催し、97病院、102名の先生方にご参加いただきました。吉矢副院長より開会の辞後、新理事長からは「地域のネットワークで地域の枠を乗り越えて医療の危機的状況乗り越えていきたい。今までは診療科の単位で交流や医師の人事交流はありましたが、今後は病院組織として積極的に連携を図ることが大切です。この連携の会を通じて、さまざまな領域で交流を深めていきたいと思っております。」また、兵庫医科大学の波田学長からは「今後は病院間の連携を密にしていき、地域医療の質の向上に貢献し、患者さんの役に立てることができましたら幸いです。」と挨拶されました。

続いて、連携病院の会会長の太城病院長が「この会を通して、連携病院さまとの関係をさらに密にし、実りあるものとしていきたいと考えております。連携病院さまにおかれましては、ご協力をお願いするとともに、いろいろなアイデアを頂戴したいと思っております。」と挨拶された後、会の趣旨、活動方針及び会則の制定について説明されました。また、今回が第1回目の開催であることから、まずは兵庫医科大学の現況をご理解いただくこととし、以下のとおり各管理者、所属の長から夫々の組織、活動状況等についての説明を行いました。(今回は、平成21年10月に開催予定。)



### 兵庫医科大学の現況について

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 兵庫医科大学病院の概要紹介    | 太城病院長            |
| 2 兵庫医科大学病院の病病連携の状況 | 難波地域医療・総合相談センター長 |
| 3 篠山病院の概要紹介        | 福田病院長            |
| 4 卒後研修の状況          | 芳川卒後臨床研修センター長    |
| 5 学生臨床実習の状況        | 鈴木医療人育成センター長     |
| 6 兵庫医療大学の学生実習の状況   | 松田学長             |



### 連携病院の会 構成病院 全119病院

医療圏	住所地	病院名	医療圏	住所地	病院名	医療圏	住所地	病院名															
阪神南	西宮市	仁明会病院	神戸	神戸市	有馬温泉病院	但馬	豊岡市	豊岡病院															
	西宮市	西宮協立リハビリテーション病院		神戸市	済生会兵庫東病院		豊岡市	日高医療センター															
	西宮市	上ヶ原病院		神戸市	神戸アドベンチスト病院		大阪市	桜橋渡辺病院															
	西宮市	西宮渡辺病院		神戸市	有馬高原病院		大阪市	住友病院															
	西宮市	西宮渡辺心臓・血管センター		神戸市	白鷺サナトリウム		大阪市	加納総合病院															
	西宮市	県立西宮病院		神戸市	川崎病院		大阪市	大阪回生病院															
	西宮市	協和マリナホスビタル		神戸市	神戸百年記念病院		大阪市	医誠会病院															
	西宮市	西宮回生病院		神戸市	三菱神戸病院		大阪市	大阪医療センター															
	西宮市	西宮市立中央病院		神戸市	神戸救済会病院		大阪市	大手前病院															
	西宮市	三好病院		神戸市	神戸海星病院		大阪市	橋本膠原病センター															
	西宮市	明和病院		神戸市	宮地病院		大阪市	NTT西日本大阪病院															
	西宮市	谷向病院		西脇市	西脇市立西脇病院		大阪市	日生病院															
	西宮市	西宮協立脳神経外科病院		加東市	加東市民病院		大阪市	大阪船員保険病院															
	芦屋市	市立芦屋病院		加東市	加茂病院		大阪市	大阪厚生年金病院															
北播磨	尼崎市	関西労災病院	北播磨	小野市	小野市民病院	大阪市	千船病院																
	尼崎市	田中病院		小野市	兵庫青野原病院	大阪市	わかこうかい病院																
	尼崎市	合志病院		加西市	米田病院	大阪市	友愛会病院																
	尼崎市	大隈病院		三木市	大村病院	大阪市	南大阪病院																
	尼崎市	樋口胃腸病院		明石市	明石市立市民病院	大阪市	行岡病院																
	尼崎市	安藤病院		明石市	明石医療センター	大阪市	大阪府済生会中津病院																
	尼崎市	岡田病院		明石市	明石土山病院	大阪市	大阪中央病院																
	尼崎市	立花病院		明石市	石井病院	大阪市	緑風会病院																
	尼崎市	尼崎医療生協病院		高砂市	高砂市民病院	堺市	美原病院																
	尼崎市	おおくまリハビリテーション病院		姫路市	姫路赤十字病院	吹田市	大阪府済生会千里病院																
中播磨	尼崎市	尼崎中央病院	姫路市	姫路第一病院	池田市	市立池田病院																	
	西播磨	伊丹市	みやそう病院	赤穂市	赤穂市民病院	池田市	池田回生病院																
		伊丹市	市立伊丹病院	赤穂市	赤穂中央病院	箕面市	箕面市立病院																
		伊丹市	近畿中央病院	たつの市	たつの市立御津病院	三島	北大阪警察病院																
		宝塚市	宝塚市立病院	宍粟市	公立宍粟総合病院	枚方市	星ヶ丘厚生年金病院																
		宝塚市	宝塚第一病院	相生市	播磨病院	枚方市	枚方療育園																
		宝塚市	東宝塚さとう病院	佐用町	佐用共立病院	東大阪市	石切生喜病院																
		川西市	協立病院	篠山市	にしき記念病院	東大阪市	恵生会病院																
		川西市	ペリタス病院	丹波市	柏原赤十字病院	八尾市	八尾市立病院																
		川西市	市立川西病院	丹波市	香良病院	八尾市	八尾総合病院																
三田市		三田市民病院	新温泉町	公立兵庫病院	南河内	藤井寺市 ラポール会青山病院																	
東播磨	三田市	宝塚三田病院	養父市	公立八鹿病院	岸和田市	市立岸和田市民病院																	
	三田市	兵庫中央病院	朝来市	朝来梁瀬医療センター	泉佐野市	りんくう医療センター市立泉佐野病院																	
	丹波	神戸市	ハルモア病院	朝来市	朝来和田山医療センター	和泉市	府中病院																
		神戸市	神戸通信病院	豊岡市	出石医療センター	京都・乙訓	音羽病院																
		阪神北	川西市	ペリタス病院	丹波市	香良病院	南河内	藤井寺市	ラポール会青山病院														
										三島	茨木市	北大阪警察病院											
													北河内	枚方市	星ヶ丘厚生年金病院								
																中河内	東大阪市	石切生喜病院					
																			東大阪市	恵生会病院			
																					八尾市	八尾市立病院	
八尾市																							八尾総合病院
	泉佐野市	りんくう医療センター市立泉佐野病院																					
			和泉市	府中病院																			
					京都・乙訓	音羽病院																	

他2病院 (平成21年8月1日現在)

# 学生が選ぶベストティーチャー賞・特別教育賞 授与

「平成20年度学生が選ぶベストティーチャー賞」の受賞式が平成21年7月2日教授会において行われ、波田学長から受賞者(個人・団体)に賞状と目録が授与されました。

この賞は、平成20年度カリキュラム終了後に、第1～第4学年次では授業担当教員別、第5学年次では臨床実習の科別に学生に無記名でアンケートを行い、評価上位者の4名と2部署を決定しました。

また、多年にわたる本学の教育改善・学習支援への献身的な尽力に対し、医学教育センターに特別教育賞が贈られました。



第1学年次  
解剖学講座(神経科学部門)  
小畑 浩一准教授



第2学年次  
臨床検査部  
小坂 英和助教



第3学年次  
精神科神経科学講座  
植木 昭紀准教授



第4学年次  
病院病理部  
羽尾 裕之准教授



第5学年次(クリニック部門)  
内科 糖尿病科グループ  
宮川 潤一郎准教授



第5学年次(ボリクリ部門)  
麻酔科・ICUグループ  
太城 力良病院長



特別教育賞  
医学教育センター  
鈴木敬一郎(センター長)

# 平成21年度 第1回キャンパス見学会を実施

8/3 MON

当日は近畿地方での梅雨明けが発表され、気温32度の真夏日となりましたが、約280名の受験希望者、保護者の参加がありました。関入試センター長による入試概要説明では、一般公募制推薦・一般入学試験に加え、地域指定推薦や大学入試センター試験利用などの新しい入学試験制度についても説明が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。続いて宮本主任教授(心臓血管外科)による模擬講義「心臓手術の基礎」では、VTR等を使用した迫力ある内容に驚きながらも興味深そうに聴講していました。その後、医学教育シミュレーター展示・体験コーナー、キャンパス見学、個別相談コーナー、在学生との交流コーナー、平成記念会館見学ツアーなどにも多くの方の参加があり、中身の濃いキャンパス見学会となりました。(9月5日に第2回目を実施)



入試概要説明会



模擬講義「心臓手術の基礎」



医学教育シミュレーター展示・体験コーナー

# 平成21年度教員研究費助成配分者決定

【配分額】 1件あたり 800,000円 (2年間で使用する)

氏名	所属講座等	職名	所属長	研究課題
前田 誠司	解剖学(細胞生物部門)	講師	関 真	腎臓におけるコリン作動性細胞の同定とその標的細胞における作用機序について
小林希美子	解剖学(神経科学部門)	助教	野口 光一	末梢神経損傷後の脊髄グリアに発現上昇するP2Y受容体メカニズムの解析
北中 純一	薬理学	准教授	竹村 基彦	精神疾患としての自傷の制御に関する研究
武田 裕司	環境予防医学	講師	若林 一郎	抹消血炎症性細胞解析による動脈硬化進行指標の確立
高橋 玄倫	法医学	助教	西尾 元	突然死例における突然死関連遺伝子の変異についての研究
川端 正明	内科学(循環器内科)	講師	増山 理	貧血の心機能(左室拡張能障害)に及ぼす影響:心筋細胞外マトリクスの解析
海田 勝仁	内科学(血液内科)	助教	小川 啓基	血清可溶性インターロイキン2受容体(sIL-2R)レベルを用いた、同種造血幹細胞移植後の移植片対宿主病のモニタリング
北野 将康	内科学(リウマチ・膠原病科)	助教	佐野 統	関節リウマチ病態の骨破壊におけるスフィンゴシン1-リン酸(SIP)/SIP受容体(SIP1)シグナルの役割
岩田 忠典	内科学(肝・胆・膵科)	助教	西口 修平	ヘリコクターピロリ陽性の慢性C型肝炎および肝硬変における除菌療法の有用性の検討
華 常祥	内科学(内分泌・代謝科)	助教	山本 徹也	プリン含有食物と尿酸代謝
金 鐘民	内科学(上部消化管科)	学内講師	三輪 洋人	Helicobacter pylori感染者におけるNSAIDs潰瘍の特徴と上部消化管出血におけるリスク因子に対する研究
上小鶴孝二	内科学(下部消化管科)	助教	松本 譽之	炎症性腸疾患患者における抹消血制御性T細胞とサイトカインの関連
渡邊 将平	内科学(神経・脳卒中科)	助教	芳川 浩男	筋萎縮性側索硬化症における細胞内クロール調節機構の検討
蓮池由起子	内科学(腎・透析科)	学内講師	中西 健	慢性腎臓病(CKD)患者におけるα-アミノレブリン酸と鉄代謝および酸化ストレスの検討
奥山 宏臣	外科学(小児外科)	准教授		早産児ならびに子宮内発育不全児における腸管機能障害の機序の解明にむけて-マウス胎児の消化管におけるサーファクタント蛋白の発現に関する検討-
西藤 勝	外科学(乳腺・内分泌外科)	助教		乳癌の化学療法感受性予測因子の開発に関する研究
藤原 敏宏	形成外科学	助教	垣淵 正男	難治性皮膚潰瘍治療に用いる持続陰圧吸引療法の線維芽細胞に与える影響の検討及び各創傷被覆材の抗菌効果の比較検討
近藤 展行	呼吸器外科学	助教	長谷川誠紀	血液中の循環腫瘍細胞から検出する胸部悪性腫瘍細胞と癌幹細胞としての特性の検討
長尾 嘉晃	麻酔科学	助教		プロポフォール持続投与による全身麻酔が手術中のタンパク質異変におよぼす影響
橋谷 進	歯科口腔外科学	学内講師	浦出 雅裕	DMBA誘発ハムスター頬嚢腫およびその由来培養細胞に対するビタミンD結合蛋白由来マクロファージ活性化因子(GcMAF)の増殖抑制効果
平田 淳一	救急・災害医学	助教	小谷 穰治	侵襲下における酸化ストレスをターゲットとした網羅的治療戦略の確立
田中 弘教	超音波センター	助教		慢性肝疾患患者に対する肝臓サーベイランスの各種画像検査の費用効果分析

# 平成21年度公的資金一覧

(単位:千円)

区分	研究課題(プロジェクト)名	所属部署	職名	研究代表者等	事業費	交付予定額	備考
戦略的研究基盤形成支援事業(ハイテクリサーチセンター整備事業)	感染・炎症現象の解析と制御	先端医学研究所 生体防御部門	主任教授	中西憲司	85,000	42,500	平成18年度～22年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業(社会連携研究推進事業)	細胞治療製剤 プロセッシングシステム開発	先端医学研究所 細胞遺伝子治療部門	研究所教授	後藤卓暢	24,700	12,350	平成18年度～22年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	次世代型造血細胞療法の基盤整備	先端i医学研究所 細胞移植部門	主任教授	小川啓基	11,000	5,500	平成20年度～24年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	難治性疼痛の分子メカニズム 解明から治療戦略開発へ向けた研究拠点形成	解剖学 神経科学部門	主任教授	野口光一	28,000	14,000	平成21年度～25年度 文部科学省 ※研究設備費を除く
循環器病研究委託費	原発性肺高血圧症の成因及び 肺血管リモデリングに関する研究	病理学 病院病理部門	准教授	羽尾裕之	1,100	1,100	平成19年度～21年度 国立循環器病センター ※予定額
産学共同シーズイノベーション 化事業(育成ステージ)	抗IL-18を用いた疾患メカニズムの解析とその治療法に関する研究	免疫学・医動物学	主任教授	中西憲司	31,664	31,664	平成18年度～21年度 (独)科学技術振興機構
科学技術総合推進費補助事業(科学技術振興調整費)	アスベスト関連疾患への 総合的取り組み	内科学 呼吸器・RCU科	主任教授	中野孝司	86,774	86,774	平成18年度～22年度 (独)科学技術振興機構
大学改革推進等補助金「がんプロフェッショナル養成プラン」	6大学連携オンコロジーチーム 養成プラン		学 長	波田壽一	11,085	11,085	平成19年度～23年度 文部科学省
環境技術開発等推進費	大気環境中の粒子状物質及びオゾンと 気管支喘息発作との関連性に関する疫学研究	公衆衛生学	主任教授	島 正之	6,725	6,725	平成20年度～21年度 環境省
二国間交流事業(共同研究・セミナー)	日本と中国における大気汚染と その健康影響に関する比較	公衆衛生学	主任教授	島 正之	1,200	1,200	平成21年度 (独)日本学術振興会
計					287,248	212,898	

# コロンビア大学短期留学を終えて

(平成21年4月6日～5月1日)

兵庫医科大学 第6学年次

堀内 日佐世



レジデント二人のお陰で乗り越えたCCU当直

**こ**の度は、このような留学報告書を書く機会を頂きありがとうございます。

初めに、応募動機について述べたいと思います。医療は、それ自身が単独で存在するのではなく、その国・地域の文化や宗教と共に存在し、またその時代や社会とともに変化するものだと思います。日本という恵まれた環境で医学を学ぶ私たちは、積極的に動けば世界から多くを学ぶことが可能な時代を生きています。実際に米国で研修をされた先生の本を読んだり講演を聴きに行ったり、米国から医師を招聘する病院で実習をさせていただいた経験から、米国の医療をもっと身近に感じてみたいと思うようになりました。

**次**に、実習内容について述べさせていただきます。朝は7時からカンファレンスに出席し、その後

CCUの回診、フェローのレクチャーを聴きながら食事を取り、午後は主にコンサルトの先生や心カテール室の先生にお世話になりました。毎朝のCCUの回診がとても印象的だったので少し紹介



みんなに笑顔をくれるパッチアダムス!

させていただきます。レジデントは四日に一度当直し、翌朝の回診で新入院の患者さんのプレゼンテーションを行います。フェローはその疾患に関する質問やレクチャーをしながら回診を行います。先生方は皆、身体所見をととても大切にされていました。レジデントと一緒に当直した際には問診や身体所見からプレゼンテーション作成までの一連の流れを経験しました。また、心臓移植の手術を見学させていただきました。移植によって助かる命がある一方で、保険などの問題から順番が後回しとなり失われた命もありました。イスタンブール宣言を始め、複雑な問題が多々ある中で身近な問題として考えさせられました。

**一**ヶ月という短い期間でしたが、とても貴重な経験ができました。語るべきものを多く持たない私に、

このような機会を与えてくださった増山主任教授をはじめとする多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



卒後臨床研修センター長メッセージ

## 変革期を迎えた新臨床研修制度

卒後臨床研修センター長  
内科学 神経・脳卒中科 芳川 浩男

**マ**ッチングの季節が今年もやってきました。平成16年に新臨床研修制度が始まって以来、臨床研修病院と医学生が希望順位を出し合って、目隠しのまま、病院の定員という枠のなかで組み合わせが決まるこの制度は、来年度に制度全体が変わる中であっても、変わることなく、継続されようとしています。いわゆる「コネ」や「青田刈り」を許さず、学生は学力やコミュニケーション能力、モチベーションの高さなどで、病院はプログラムや待遇の良し悪しで選択されていくことは理にかなっているように思います。ただ問題は、厚労省が来年度から、都市部の病院の定員を減らし、地方の病院に定員を振り分けようとしている点です。幸い、兵庫医科大学病院の定員は当初予定の60名を確保できそうですが、これは昨年度のマッチング率が100%だったおかげです。

**来**年度に当院のプログラムは変更されます。すなわち基本プログラム、小児科重点プログラム、産婦人科重点プログラムという3つのプログラムで研修医を募集します(従来は1つでした)。また、2年目に「地域医療」研修が必須となり、基本プログラムでは篠山病院、公立八鹿病院、公立宍粟総合病院で小児科と産婦人科の研修も含めた2ヶ月を、小児科重点、産婦人科重点プログラムでは阪神地区の診療所で1ヶ月「地域医療」を研修することになりました。それぞれの地域の特性に即した医療を理解し、在宅医療や外来診療を経験するための研修ですが、なぜこのような変更をしたかというと、実はこれも厚労省からの指導です。さらに付け加えるなら、到達目標は

変更せずに必修の診療科を減らすことになりました。本来、必修の診療科を減らすのなら、到達目標は変えるべきなのですが、あえて厚労省は無理難題を臨床研修病院に投げかけました。多くの病院が当惑しているはずですが、当院は2年目の研修に外科を2ヶ月、精神科を1ヶ月必修としました。

**今**回の臨床研修制度の改訂のキーワードは「自由度」と「社会貢献」にあります。マッチングに参加する医学生は初期研修の2年間はどこで研修しても基本的には変わらない、それより将来専門とする診療科をどのように見つけるかに関心があり、初期研修も自由度が高いプログラムに人気があります。厚労省はそれを知ってか、それぞれの臨床研修病院(形式的には研修医)の判断に任じた形になりました。研修期間が1年に短縮されると誤解されかねない報道が昨年ありましたが、実際には2年間のうち10ヶ月、将来専門としたい診療科の研修が可能になっただけです。また、保健所や老健施設中心の研修であった「地域保健・医療」から「地域病院・診療所での研修」に切り替えたことで、崩壊しつつある地域医療を下支えしようという厚労省の意図がどれだけ研修医に伝わるのか、やってみなければわからないことだらけです。

**最**後に、私の持論ですが、若い医師には、リサーチマインドをもち、医療の持つ社会性を軽視せず、高い倫理観を持てるような研修を積んでいただきたいと思っています。

## 第25回兵庫県栄養改善研究発表会 「院内食での取り組み」努力賞 受賞



### 臨床栄養部

平成21年3月28日に開催されました、第25回兵庫県栄養改善研究発表会において、努力賞を頂きました。発表演題は「毛髪混入の無い食事提供を目指して」で、内容は病院の食事提供の中で、インシデントとして発生件数が多い毛髪混入防止のため、①厨房に入る前だけでなく、調理作業中に1日8回(6:00 朝食盛付前、8:30 朝礼前、9:30 調理作業中、10:30 昼食盛付前、12:30 昼礼前、14:00 夕食作業開始30分後、15:00 夕食作業中、16:00 夕食盛付前)担当者が、その日の調理従事者全員(平均20名)の調理着に粘着ローラーを掛け、付着した毛髪を記録して個人名の入った表にまとめて張り出している、②下膳時にトレイに付着してくる患者さん由来の毛髪の本数を毎食数える、という委託会社と共同での取り組み2点についてまとめました。

この取り組みにより、調理着に付着する毛髪は、年々減り3年目で月に10本以下になりました。また、下膳時にトレイに付着してくる患者さん由来の毛髪は、月に100~300本程度あることが分かりました。今後も、毛髪混入を減らすため、さらに努力して参りたいと考えています。



9:30調理作業中のローラー掛け

## 株式会社エイチ・アイから 車椅子入浴装置が寄贈されました

本学の100%出資事業会社である株式会社 エイチ・アイから、兵庫医科大学病院にコンパクト車椅子入浴装置「シャトル」一式が寄贈されました。平成21年7月6日に10号館6階病棟浴室で寄贈式が行われ、飯田代表取締役社長から太城病院長に目録が贈呈されました。

「シャトル」は膝を伸ばせてゆったりと入浴できる車椅子入浴装置で、全温度管理システムが搭載されており、患者さんに安全で快適にご入浴いただけます。また、乗り降りがスムーズに行え、介助者にとっても姿勢が楽な設計となっています。

株式会社 エイチ・アイからは昨年10号館4階病棟に同浴槽の寄贈があり、病棟スタッフから「入浴介助が楽になった」と感謝の言葉をいただいております、今回で2台目の設置となります。



左から太城病院長、山田看護部長、飯田社長



## 一人の患者さんを急性期・回復期・維持期まで支えるトータルケアを 兵庫医科大学リハビリテーションセンター

兵庫医科大学リハビリテーションセンターは平成11年6月に開設され、先進的な高度医療と地域に密着した医療・介護を実施していくため、併設の兵庫医科大学篠山病院、ささやま老人保健施設と連携して充実した機能訓練を提供すると共に、地域におけるリハビリテーションの中心的役割を担い、全人医療の一環としての総合的リハビリテーションを展開しています。

各診療科や近隣病院と連携しながら、入院(46床)、外来、訪問診察・訪問リハビリテーションを通して、一人の患者さんを継続して支える地域密着型のリハビリテーションを行っており、特に脳血管疾患では近隣病院と脳卒中パスで連携し、急性期・回復期・維持期まで全てのリハビリテーションを実施しています。

また、脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、神経難病に加え、近隣では唯一心臓リハビリテーションが行える施設として、循環器内科と連携して心臓疾患を抱える患者さんのリハビリテーションにも力をいれています。



- 施設基準  
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)  
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)  
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)  
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)  
集団コミュニケーション療法科
- 職員数(7月31日現在)  
リハビリテーション科医師4名  
理学療法士13名、作業療法士8名、言語聴覚士4名、理学療法助手1名
- 対象疾患  
脳血管疾患(脳卒中、慢性硬膜下血腫など)  
運動器疾患(骨折、靭帯損傷、腰痛、肩関節周囲炎、変形性関節症など)  
呼吸器疾患(肺炎、慢性呼吸器不全、気管支喘息など)  
循環器疾患(心不全など)  
神経難病(パーキンソン病、ギランバレー症候群など)



## 一人の患者さんを継続して支え続ける “篠山モデル”構築を目指して

兵庫医科大学篠山病院 リハビリテーション科 医長  
地域総合医療学講座 講師 鳥田 眞一

篠山病院、ささやま老人保健施設と連携し、また近隣病院や地域と連携して、医療及びトータルケアに携わっています。以前から地域医療、地域リハビリテーションを学びたいと思っていましたが、ここで視野が広がりました。積極的に地域にでていくことを心がけており、当センターやささやま老人保健施設での診察に加え、通院が難しい患者さんを在宅で診察する訪問診察も行っています。共に働く理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は若手からベテランまで皆とても勉強熱心で、研究や症例検討会などを自主的に行う姿に、医師である私たちも励まされています。

集中的なリハビリテーションを行うことで機能改善が見られる「回復期越えの症例」にも力を入れており、丹波・篠山地域だけでなく、全国から患者さんが来られます。また、循環器内科と連携し、近隣では唯一の心臓リハビリテーションを実施しています。心臓リハビリテーションは運動機能の回復に加え、心臓疾患の治療と再発予防、心理的サポートを目的とするもので、心臓疾患

の増加傾向にある近年において需要が高まっています。他にも、整形外科と連携しての骨粗鬆症に関する研究など、総合病院である篠山病院と老人保健施設との連携がうまく機能した、特色あるリハビリテーションを展開しています。

高齢化が進むこの丹波・篠山地域では、我々の実践している地域医療、地域リハビリテーションへの期待は大きく、医療及びケアが求められます。患者さんやご家族に安心して暮らせるように、当センター、篠山病院、老人保健施設が一体となって、一人の患者さんを入院から在宅生活まで継続して支え続ける“篠山モデル”を構築し、これからも地域医療、地域リハビリテーションに貢献していきたいと思っています。





左から言語聴覚士の川阪尚子さん、作業療法士の荻野真知子さん、理学療法士の荻野智之さん、リハビリテーションセンター医長で地域総合医療学講座(リハビリテーション科)講師の島田真一さん



幅広い視点からアプローチできる  
作業療法士を目指して

作業療法士 | 荻野 真知子さん

主に、訪問リハビリテーションとささやま老人保健施設の入所・通所の方々への作業療法を担当しています。日常生活を送るために必要な機能の回復・維持および開発の促進を目指して、生活全般に関わる諸活動(作業活動)を用いて治療・指導・援助を行います。患者さんによって疾患やその重症度、生活環境が様々なので、実践する中で身につける部分も多く毎日が勉強です。診療後も研究や勉強会に励み、忙しくはありませんが、友人たちと週に一度バレーボールで体を動かすなどして気分転換をしています。

退院調整や訪問リハビリテーションでは実際に患者さんの生活場面に入らせていただくので、失礼が無いように気を付けています。そして、常に笑顔を忘れないよう心がけています。根

気よくリハビリテーションを続け、ご自宅の環境設定やご家族の介助体制が整い、無事に在宅生活を送っていただけるようになった時がとても嬉しいですね。退院されてからも、私たちの訪問を心待ちにして笑顔で迎えてくださることも多く、励みになります。

ここでは入院から退院、その後も、一人の患者さんと継続して関わることができます。また、担当・職種を越えた連携も非常にしやすい職場です。これからも着実に経験を積み、地域リハビリテーションに携わっていきたい。患者さんやご家族に安心して在宅生活を送ってもらえるように、幅広い視点からアプローチできる作業療法士になりたいと思っています。



患者さんの意思を伝える手段を探して

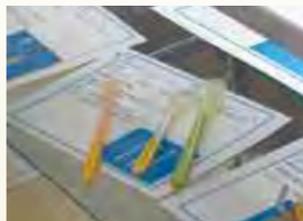
言語聴覚士 | 川阪 尚子さん

主に、コミュニケーション障害(失語症や運動障害性構音障害)、高次脳機能障害、摂食・嚥下障害のある患者さんに対して、呼吸・発声・構音の訓練やコミュニケーション手段の獲得、社会生活に復帰する際の様々な援助、摂食・嚥下リハビリテーションなどを行っています。特に、外来患者さんと接する時は、限られた時間の中で情報を把握して現状を評価し、どういった対応が必要かを考えなければなりません。難しく感じることもありますが、症状が改善したり、コミュニケーションの代替手段がうまく機能した時などにやりがいを感じます。言葉が出にくかった患者さんから言葉を聞いた時や、「コミュニケーションを取りやすくなった」とご家族に言っていただける時も、とても嬉しいですね。

ここでは医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による全療法を見ることができるのでとても勉強になります。また、同期

が8名いて話をしたり食事に出かけたりしますが、働き始めて実感したのは、職種間を越えたコミュニケーションはもとより、他科や他病院、そして地域の福祉スタッフの方々との連携が大切であること。そのためにも、休日には仕事以外の友人たちとも積極的に交流し、様々な視点を身につけるようにしています。

これからも、日々の臨床を着実に実践し、言語聴覚士としての力をつけていきたいと思えます。また、職種を問わず、困っている後輩がいたらアドバイスしてあげられるような先輩になりたいですね。



丹波・篠山地域で  
心臓リハビリテーションを展開していきたい

理学療法士 | 荻野 智之さん

主に、入院・外来患者さんに対して、身体の各機能の回復治療に加え、起きる、座る、立ち上がる、歩く、移動するといった基本的な動作訓練や介助方法の指導を行っています。なかなか回復が見込めなかった患者さんの状況が改善され、機能回復した時など、やりがいを感じることはここには沢山あります。

もともと、理学療法はスポーツトレーナーなど整形外科分野でのリハビリテーションが多いと思っていました。勉強を進めていくうちに、内科、呼吸器系の分野も多いことを知り、ますます理学療法への興味が広がりました。この春から、循環器専門医師や看護師と連携して心臓リハビリテーションに力を入れています。心疾患の患者さんは特にリスク管理が重要です。血圧や脈拍、血中酸素濃度をチェックしながら患者さんの状態に合わせたリハビリテーションを行い、体力回復、再発防止、予後改善を目指しています。全国的にも心臓リハビリテーションを行っている施設はまだ少なく、丹波・篠山地域ではここだけです。篠山病院を拠点とした地域密着型の心臓リハビリテーションを展開していきたいと思っています。

課題を持って研究に取り組み、新しい知識と様々な視点が臨床につながるということを先輩に教えてもらいました。今後は研究にも力を入れていきたいですね。職場は全体的に勉強熱心で、症例検討会や様々な勉強会をしています。皆が頑張っている姿をみるとやる気が出ます。



第10回日本言語聴覚学会 優秀賞 受賞

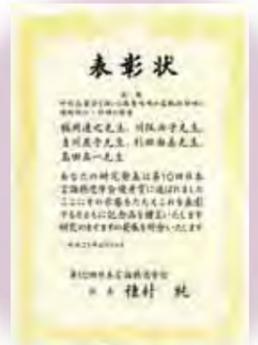
兵庫医科大学篠山病院 医療技術部 リハビリテーション室  
言語聴覚士

福岡 達之



平成21年6月13・14日に倉敷市で開催された第10回日本言語聴覚学会において、私共が発表した演題「呼吸流量計を用いた随意的いらいそうの客観的評価と喉頭侵入・誤嚥の関連」が優秀賞に選ばれました。本研究では、摂食・嚥下障害を認める脳卒中、神経筋疾患患者の随意的いらいそうを呼吸流量計で測定し、嚥下造影検査による重症度評価との関連について検討致しました。得られた随意的いらいそうの指標のうち、最大咳嗽流速、呼気立ち上がり時間、咳嗽加速度が食物の喉頭侵入・誤嚥と有意な相関を示したことから、摂食・嚥下障害を評価する方法のひとつとして随意的いらいそうの客観的評価が有用であることを発表致しました。

高齢者に多い摂食・嚥下障害は低栄養の重要なリスク因子となるだけでなく、誤嚥性肺炎の発症や窒息の危険等、重大な障害をもたらします。今後も摂食・嚥下障害患者の評価・治療に貢献する研究を目指し、より一層励んで参りたいと思います。



基礎工事を施工中

篠山病院整備工事の進捗状況(7月末現在)

平成21年4月に着工して約4ヶ月が経ちました。基礎の杭打工事を終えて、現在は基礎・地中梁(地中の躯体部)工事を施工中です。連日、炎天下の現場において、工事関係者約100名が鋭意作業を行っています。7月末現在で、約12%の出来高となり、予定通り工事は順調に進められております。(総務部 施設整備課)



ささやま老人保健施設屋上より